

● 株式情報 (平成26年9月30日現在)

株式の状況

1.発行可能株式総数	27,400,000株
2.発行済株式の総数	15,628,300株 (うち自己株式674,218株)
3.株主数	2,764名

株主メモ

■事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
■基準日	定時株主総会 3月31日 剰余金の配当 3月31日 中間配当を行う場合 9月30日 そのほか必要がある場合は、あらかじめご公告いたします。
■定時株主総会	毎年6月下旬
■単元株式数	100株 (平成26年4月1日より)
■株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社

■お問い合わせ先	
	証券会社に口座をお持ちの場合
郵便物送付先	特別口座の場合
電話お問い合わせ先	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 0120-288-324 (フリーダイヤル) (土・日・祝日を除く9:00～17:00)
お取扱店	みずほ証券 本店および全国各支店および営業所 プラネットブース (みずほ銀行内の店舗) みずほ信託銀行 本店および全国各支店 ※トラストラウンジではお取扱いできませんので、ご了承ください。
ご注意	未払配当金の支払、支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。

■公告方法	電子公告 (http://www.se-corp.com/ir/koukoku.html) ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。
-------	---

○ ご報告：株主優待制度を活用した社会貢献団体への寄付について

平成26年3月期においては、選択式の優待品目のひとつとして、昨年同様「緑の募金」を通じた東日本大震災の被災地復興に向けた『使途限定募金』の寄付を設定いたしました。

その結果、多くの株主様の善意により**合計金額63万6千円**が集まりましたので、公益社団法人国土緑化推進機構に全額寄付させていただきます。

ご協力いただいた皆様、誠にありがとうございました。

ホームページのご案内

詳細なIR情報や会社概要等については、当社ホームページをご覧ください。
<http://www.se-corp.com>

● 会社情報 (平成26年9月30日現在)

商号	株式会社エスイー
所在地	〒163-1343 東京都新宿区西新宿六丁目5番1号 (新宿アイランドタワー)
創設	昭和42年 8月
設立	昭和56年12月
資本金	12億2,805万円
従業員数	単体189名、連結413名
グループ事業内容	1.建設用資機材の製造・販売 ・環境防災分野 ・橋梁構造分野 ・PPP/コンセッション分野 2.建築用資材の製造・販売 3.建設コンサルタント 4.補修・補強工事 5.その他 (超高引張強度コンクリートの開発等)

関係会社	(株)アンジェロセック (連結) エスイーA&K(株) (連結) エスイーリペア(株) (連結) (株)ランドプラン (連結) エスイー鉄建(株) (連結) (株)コリアエスイー (持分法適用、韓国) (有)日越建設コンサルタント (VJEC) (非連結、ベトナム) 九春工業股份有限公司 (台湾)
協力会社	アンジェロップ (フランス)

役員

■取締役・監査役

代表取締役社長	森 元 峯 夫
執行役員社長	
代表取締役副社長	大 津 哲 夫
執行役員副社長	
取締役 専務執行役員	岡 本 哲 也
取締役 専務執行役員	塚 本 正 誠
取締役 常務執行役員	本 田 間 田 治 顕
取締役 常務執行役員	今 田 田 行 之
取締役 執行役員	戸 澤 憲 浩
取締役 執行役員	杉 山 浩 二
監査役	鈴 木 章 雅
監査役	鈴 木 石 喜
監査役	寺 薈

■執行役員 (取締役に兼任するものを除く)

執行役員副社長	石 崎 浩 郎
執行役員	久 賀 泰 一
執行役員	中 村 賢 弘
執行役員	和 田 弘 男
執行役員	水 城 康 男



株主通信

第34期第2四半期

平成26年4月1日～平成26年9月30日

●目次

- －エスイーグループ事業紹介
- －株主の皆様へ
- －平成27年3月期第2四半期連結決算ハイライト
- －事業の状況
- －第2四半期連結財務諸表
- －特集 【防災対策】プロジェクト紹介
- －株式情報
- －会社情報

エスイーグループ事業紹介

安心・安全で快適な暮らしのために、 様々なフィールドで貢献しています。

建設用資機材の 製造・販売事業

(株)エスイー
エスイー鉄建(株)

建築用資材の 製造・販売事業

エスイーA&K(株)

建設コンサルタント 事業

(株)アンジェロセック

補修・補強工事業

エスイーリペア(株)
(株)ランドプラン



マンションの仮設・内装建材



港湾などの耐震補強



学校などの耐震補強



オフィスビルの仮設・内装建材



橋梁の構造強化



橋梁の設計



橋梁の補修補強



高速道路など道路橋の構造強化



斜面の地すべり防止



トンネルの補修補強



海外の開発援助



公共事業・ODA等のコンサルティング

海外での 事業展開



韓国 KOREA SE CORPORATION
(株式会社コリアエスイー)
●建設用資機材の製造・販売事業



ベトナム VJEC (Vietnam Japan
Engineering Consultants Co., Ltd.)
●建設コンサルタント事業



台湾 九春工業股份有限公司
●建設エンジニアリング事業



フランス アンジェロップ社

アンジェロップ社は、社会インフラ、公共交通、水道施設、建築物など多岐にわたる技術力やネットワークを持ち、世界各国で活躍するフランスのエンジニアリング会社です。当社は、世界最高水準の技術を有するアンジェロップ社と創業以来の協力関係にあり、国内外において共同で事業を展開しています。

変化と新しい価値の創造

顧客に満足される新しい機能の創造
社会、自然環境との調和
社員の個性尊重 一意欲と能力の発揮による各人の豊かさの実現—
Making Changes, Creation of New Values for the Next Stage

●株主の皆様へ



代表取締役社長
森 元 肇 夫

平素は格別のご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の金融政策や経済対策の継続により、全体として緩やかな景気回復基調で推移いたしました。一方で、急激な円安による原材料価格の上昇など、先行き不透明な状況が続いております。

このような経営環境のもと当社グループでは、建設業界における中長期視野での公共投資減少等の問題に対処すべく、安定収益の確保と経営基盤の強化として、「補修・補強市場」への積極的な事業展開、海外（ベトナム）建設市場の開拓、超高引張強度コンクリート「ESCON（エスコン）」の開発等に取り組ましました。

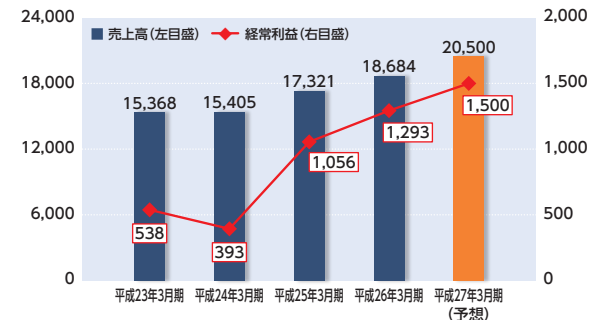
この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は87億46百万円（前年同期比7.8%増）と増収となりました。利益面では、原材料価格の高騰による原価率の上昇や積極的な研究開発活動による販売費及び一般管理費の増加などにより、営業利益1億19百万円（前年同期比66.8%減）、経常利益88百万円（前年同期比76.6%減）、四半期純損失8百万円（前年同期は2億3百万円の四半期純利益）と減益となりました。

当社は、これからも人々の生命と財産を守るため、グループ一丸となって社会へ貢献してまいります。今後とも、変わらぬご愛顧を賜りますようお願いいたします。

●平成27年3月期第2四半期連結決算ハイライト

売 上 高	87億46百万円
経 常 利 益	88百万円
期末配当(予想)	1株当たり22円

・通期連結売上高、経常利益の推移（単位：百万円）



●決算のポイント

原材料価格の高騰等による利益率への影響

原材料の価格高騰による原価率の上昇、研究開発活動による販売費及び一般管理費の増加等により、前年同期に比べ減益となりましたが、新たな事業の柱を創造すべく、新製品の開発や超高引張強度コンクリート「ESCON（エスコン）」の製品化に向けて開発と実用化を推進してまいります。

M&A実施により、新たな子会社がグループ化

新たに鉄建工業株式会社（新商号：エスイー鉄建株式会社）を子会社化いたしました。なお、事業につきましては、「建設用資機材の製造・販売事業」に含めております。

●通期の連結業績における見通し

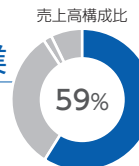
順調に推移することが見込まれますが、第3四半期以降におけるグループ各社の受注動向を慎重に見極めており、通期の連結業績見通しは計画目標値を変更いたしません。

●事業の状況

エスイーグループの事業は主に4つのセグメントにより構成されています。

建設用資機材の製造・販売事業

(株)エスイー
連結子会社：エスイー鉄建(株)



売 上 高 51億62百万円 （前年同期比 9.8%増）

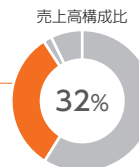


引き続き公共工事の景気浮揚策の追い風があり、主力製品である「落橋防止装置」や「グラウンドアンカー」の売上が前年同期に比べ順調に推移。利益面では、原材料価格の高騰や固定費増加による売上総利益率の低下があり、また、積極的な営業活動と成長分野への事業展開を推進していることによる販売費及び一般管理費の増加があったことから、営業利益は前年同期に比べ減少しました。

なお、子会社化した鉄建工業(株)（新商号：エスイー鉄建(株)）の事業については、当セグメントに含めております。

建築用資材の製造・販売事業

連結子会社：エスイーA&K(株)



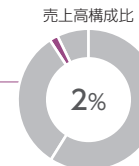
売 上 高 28億6百万円 （前年同期比 14.6%増）

依然として建築工事に従事する職人の慢性的不足が解消されていないものの、建築工事は増加傾向であり、主に首都圏市場で資材販売が順調に推移。利益面では、原材料価格の上昇分をコスト低減に加え製品販売価格へ転嫁を図るべく積極的な営業活動を推し進めておりますが、価格面では依然厳しい市場環境にあることから、営業利益は前年同期に比べ減少しました。



建設コンサルタント事業

連結子会社：(株)アンジェロセック



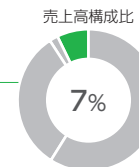
売 上 高 2億円 （前年同期比 26.1%減）



連結子会社である(株)アンジェロセックの海外展開による「コンゴ民主共和国キンシャサ市ボワ・ルー通り補修及び改修計画」、「コンゴ民主共和国キンシャサ市ボワ・ルー通り道路4車線SV」ならびに「タンザニア国ニューバガモヨ道路拡幅計画」等の施工監理業務が当第2四半期連結会計期間に完工しました。

補修・補強工事業

連結子会社：エスイーリペア(株)
(株)ランドプラン



売 上 高 5億77百万円 （前年同期比 16.6%減）

政府による「国土強靱化」を掲げる政策やインフラ老朽化対策である橋梁、道路、トンネルなどの改修計画の具体化等に対応し、事業を推し進めております。また、工事量の増加による技術者・熟練労務者の不足や資材費高騰等の問題への対応を図りながら、受注消化体制の整備を進めております。



※売上高および売上高構成比は端数処理をしております。

● 第2四半期連結財務諸表

(注) 財務諸表の記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結貸借対照表（要旨）（単位：百万円）

前期末 (平成26年3月31日現在)	当第2四半期末 (平成26年9月30日現在)	前期末 (平成26年3月31日現在)	当第2四半期末 (平成26年9月30日現在)
現金及び預金 5,221	現金及び預金 4,406	流動負債 8,695	流動負債 7,828
有形固定資産 3,689	有形固定資産 3,859	固定負債 4,110	固定負債 3,758
無形固定資産 315	無形固定資産 333	株主資本 7,660	株主資本 7,219
投資その他の資産 1,576	投資その他の資産 1,586	その他の 包括利益累計額 76	その他の 包括利益累計額 73
流動資産 14,968	流動資産 13,103	少数株主持分 7	少数株主持分 2
固定資産 5,581	固定資産 5,779	負債 12,806	負債 11,587
資産合計 20,550	資産合計 18,882	純資産 7,744	純資産 7,295
		負債純資産合計 20,550	負債純資産合計 18,882

連結損益計算書（要旨）（単位：百万円）

前第2四半期累計 (平成25年4月1日～平成25年9月30日)	当第2四半期累計 (平成26年4月1日～平成26年9月30日)
売上高 8,112	売上高 8,746
売上総利益 2,276	売上総利益 2,216
営業利益 359	営業利益 119
経常利益 377	経常利益 88
四半期純利益 203	四半期純損失 △8

連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）（単位：百万円）

当第2四半期累計 (平成26年4月1日～平成26年9月30日)
現金及び現金同等物の期首残高 4,703
営業活動によるキャッシュ・フロー 515
投資活動によるキャッシュ・フロー △181
財務活動によるキャッシュ・フロー △1,212
現金及び現金同等物の期末残高 3,850

● 特集 【防災対策】プロジェクト紹介

SEEEグラウンドアンカー、KIT受圧板が採用

門島地すべり対策事業（静岡県浜松市）

＜プロジェクト概要＞

案 件 名：門島地すべり対策事業

施工場所：静岡県浜松市天竜区春野町杉

施工期間：平成26年3月末（当初）

施工業者：1工区 日特建設株式会社

2工区 ライト工業株式会社

【SEEEグラウンドアンカー】

土塊を押さえつけて土砂災害を防止する建設資材。
特に当社製品は、ナット（ねじ）式で調節しやすく、防錆性能も高いことから、維持管理に優れています。

Ⅰ 受注までの経緯

平成25年4月23日、静岡県浜松市天竜区春野町杉の門島地区では、大規模な斜面崩壊が発生しました。

幅約80m、高さ約90mの範囲にわたって土砂が崩れ落ち、付近の住民には避難勧告が発令されるなど、その様子はテレビや新聞等のニュースでも大きく報道されました。

国土交通省や対策検討委員会等により対策工法が検討された結果、グラウンドアンカーを中心とした対策が最適と判断され、平成25年6月に災害関連緊急地すべり対策事業として静岡県により採択されました。

Ⅱ 当社製品について

当社では、SEEEグラウンドアンカー工法や受圧板による斜面崩壊対策の維持管理や工期短縮等の優位性について各方面に働きかけた結果、当社製品のSEEEグラウンドアンカー約500本、およびKIT受圧板が採用されました。

今後も防災機能に特化した製品群および関連サービスの提供を通じて、「国土強靱化」や社会インフラの整備に貢献し、皆様の生活を守り、支えてまいります。